

施策評価シート

施策番号【1-1】

評価年度	令和2年度	事業実施年度	令和元年度	施策主管次長名	伊 藤 昌 代	
施策番号	1-1	施策名	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう		総合計画掲載頁	60～65
主担当部名	子育て健康部					
関連課名	子育て支援課、健康推進課、教育行政課					

1 総合計画の目標指標 PLAN & GOAL（中間値と最終目標値の確認）

取組分野1 子育て支援		R5	R10
指標名	子育て支援に関する取り組みの市民満足度割合	中間値	目標値
指標の定義	「子育て支援」の取り組みに対する満足度割合（市民アンケート）	65%	70%
取組分野2 家庭教育		R5	R10
指標名	家庭教育に関する取り組みの市民満足度割合	中間値	目標値
指標の定義	「家庭教育」の取り組みに対する満足度割合（市民アンケート）	65%	70%
取組分野3 地域で子育てを支える環境		R5	R10
指標名	地域で子育てを支える環境に関する取り組みの市民満足度割合	中間値	目標値
指標の定義	「地域で子育てを支える環境」の取り組みに対する満足度割合	65%	70%
取組分野4		R5	R10
指標名		中間値	目標値
指標の定義			
取組分野5		R5	R10
指標名		中間値	目標値
指標の定義			

2 成果指標 DO & REPLAN（実績を計上し計画値を再設定）

指標①	取組分野1 子育て支援							
	成果指標名	「指導・ケアが十分受けられた」と感じた産婦の割合	単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
			%	84	87	88	89	90
	対象	市内全産婦	指標設定の考え方	ネウボラの取り組みの満足度を判定する指標とするため、3・4か月児健康診査においてアンケート結果を使用する。				
			把握方法	アンケートで「指導・ケアが十分受けられた」と回答した産婦の割合				

指標②	取組分野1 子育て支援							
	成果指標名	保育園定員数（0～2歳児）	単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
			人	429	454	461	462	462
	対象	市内乳幼児	指標設定の考え方	待機児童解消を目指し、保育要望が増加する0～2歳児の定員数を拡充する。				
			把握方法	4月1日現在の保育園0～2歳児定員数				

指標③	取組分野2 家庭教育							
	成果指標名	ふれあいトライアングル推進事業参加者数	単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
			人	2,180	2,200	2,300	2,350	2,400
	対象	参加者数	指標設定の考え方	事業に参加して地域等での家庭教育のあり方を考えてもらうため、ふれあいトライアングル推進事業を実施する。				
			把握方法	推進事業への参加者数				

指標④	取組分野3 地域で子育てを支える環境							
	成果指標名	ファミリー・サポート・センター援助活動回数	単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
			件	2,123	2,200	2,300	2,400	2,500
	対象	援助・依頼会員	指標設定の考え方	地域で子育てを支えるファミリー・サポート事業により、子育ての手助けをしてほしい人としてくれる人を結びつけ支援の輪を作る。				
			把握方法	ファミサポの年間援助活動回数				

指標⑤								
	成果指標名		単位	R1実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5目標
	対象		指標設定の考え方					
			把握方法					

3 施策の評価

ANALYSE & CHECK(分析・評価)

施策の分析（現状の確認と近隣調査）		
施策の現状	・誰もが安心して妊娠・出産・子育てができ一人でも多くの女性が「もう一人子どもを産み育てたい」と思えるよう、妊娠期から子育て期までの「切れ目のない支援体制」の充実を図っている。特に0～2歳児の乳幼児の定員数を拡充するために、既存の保育施設の有効活用や、老朽化した保育施設の大規模改修に合わせ、保育士を確保しつつ乳児の受入を拡大するなど可能な対策は講じているものの待機児童が発生した。 ・子どもが健やかに育つように地域との関わりを深めるため、家庭・学校・地域の三者の連携を深め、健全な家庭教育の醸成を図る目的でトライアングル推進事業の実施や子育て中の家庭を支援するため、ファミサポ事業の充実を図っているが、年間の援助活動回数は横ばいである。	
成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	・子どもが健やかに育つように地域との関わりを深める。 ・家庭や地域で子どもたちに地域の行事等、家庭教育力を育むためのイベントに対する理解や自らの家庭でも子どもに対して実践を行うなど地域全体で家庭教育力の向上に取り組む。 ・地域で子育てを支えるファミリーサポート事業の仕組みを理解し、子育て中の家庭を支援する。
	行政	・妊産婦に対する相談・支援の実施、産前・産後ケア体制の整備 ・児童育成計画に基づいた待機児童対策を実施する。 ・市内8小学校のトライアングル推進事業に対して、補助金を交付するなど支援体制の充実を図る。 ・ファミリーサポート事業についてPRし、援助会員を増やすことに努める。
近隣市町との比較	・産後ホームヘルプ事業と産後ケア(宿泊・デイ)事業を同時に実施しているのは、西三8市で岡崎市・豊田市・安城市、刈谷市の4市である。 ・令和元年度(4月1日時点)の待機児童の現状は、本市においては19人、岡崎市・豊田市・碧南市・安城市・西尾市・東郷町については0人、刈谷市11人、知立市19人、高浜市11人、日進市35人、長久手市38人という状況である。 ・ふれあいトライアングル推進事業のような活動はあるが、市内全ての小学校で取り組んでいるのは本市のみである。	

施策の評価（活動の振り返りと課題の明確化）	
平成30年度以前の活動	・平成29年度から利用者支援事業、産前・産後サポート事業、産後ホームヘルプ事業を実施し、平成30年度から産後ケア事業を開始した。 ・老朽化した保育施設の大規模改修に合わせ乳児の受入拡大(H28すみれ保育園)幼児用保育室を乳児用保育室に改修し、保育室の整備及び備品購入(H29・30明知保育園)小規模保育事業所の選定、認可(H29 キッズハウスみよし) ・平成28年度までは市内1小学校に委嘱していたが、平成29年度から市内8小学校に拡充し、取組み範囲を広げた。 ・H31. 3現在の依頼会員数 231人、援助会員数 32人である。年間2,063件(内訳は子どもの預かり607件、送迎1,123件、その他333件)
	令和元年度の活動内容 ・令和元年度から利用者支援事業の中で、妊婦との顔の見えるつながりの場として、妊婦おめでとうプレゼント事業を新たに開始した。 ・3園(なかよし、すみれ、わかば)において、保育施設を有効活用し乳児の受入を拡大した。民間から小規模保育事業所を選定(社会福祉法人 和光児童福祉会) ・市内全小学校でふれあいトライアングル推進事業を実施し、家庭・学校・地域の連携を図った。 ・(R2. 3現在)依頼会員数 232人、援助会員数 44人である。年間2,123件(内訳は子どもの預かり725件、送迎1,194件、その他204件)
積み残し課題等	
・産後ケア事業では産婦支援の観点から乳児が単胎か多胎に関わらず、医師会への委託料及び本人利用料は同一となっているが、今後他市町を参考に検討が必要。 ・隠れ待機児童の解消 ・家庭教育への支援では、行事に参加する保護者の負担軽減、参加しない、できない保護者に対してどう参加してもらうか、興味を持ってもらうかが課題である。 ・ファミリーサポートセンター事業では、預かり依頼の中でも病児病後児預かりの受入れ体制を整備する必要がある。	

4 活動計画

ACTION & PLAN(目標を達成するために起こす行動)

令和2年度以降の施策目標達成に向けての取組の方向性	・「みよし市版ネウボラ」を推進することで、安心して子どもを産み、育てることができる「切れ目のない子育て支援」を継続的に行う。 ・保育園の定員数については、保育園長寿命化計画に伴う施設整備に合わせ、保育室を整備するなど受入定員数の増を図る、また保育士の人材確保に努める必要がある。 ・保育士不足の解消のため、公立保育園の民営化、民間事業者を支援する方法で待機児童解消に努める。 ・家庭教育への関心を単に個々の家庭の問題とせず、地域社会全体の問題として捉え、家庭・学校・地域の連携により家庭教育力の向上を目的にふれあいトライアングル推進事業を引き続き実施すべきである。それぞれの校区の実情にあった事業内容の採択、多くの方が参加できる取り組みの推進に努める。 ・援助活動回数を増加し、目標を達成させるため、会員の依頼に対して援助ができる支援体制を整える。
	施策目標達成に向けての令和2年度の活動内容 ・妊産婦への支援として、産後の心身の一層の健康保持を目的に、産婦健診の補助回数を増やす。また、乳幼児への支援として、3歳児検診に新たに「視覚屈折検査」を導入することで、視覚異常などの早期発見を図る。 ・なかよし保育園増改築工事設計委託(保育室の増築)し、保育園定員数の拡大をし、民営化に向けて事業者の選定をする。 ・市内全小学校の家庭教育推進協議会に補助金の交付を実施し、補助対象事業への積極的な補助金の利用や、行事に保護者と児童、地域の方々の参加を促すなど開催方法等を周知する。 ・援助会員の人数を増やすため、積極的にファミリーサポート事業のPRを実施する。病児病後児預かりスタッフ養成講座を実施し、援助会員の増加に努める。